

様式第4

騒音の増加を伴わない場合は届出不要です。

(記載例) 騒音の防止の方法変更届出書

○年 ○月 ○日

観 音 寺 市 長 殿

届出者 ○県○市○町××  
株式会社 △△△△  
代表取締役 ○○ ○○

騒音規制法第8条第1項の規定により、騒音の防止の方法の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	株式会社△△ 観音寺工場		※ 整 理 番 号	
工場又は事業場の所在地	観音寺市○○町××		※ 受 理 年 月 日	年 月 日
△騒音の防止の方法	変 更 前	変 更 後	※ 施 設 番 号	
	別紙のとおり。		※ 審 査 結 果	
			※ 備 考	

- 備考 1 騒音の防止  
限り、図面、  
こと。  
2 ※印の欄は  
3 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 特定施設及び防音施設等の配置状況を示した図面等を用いて変更前及び変更後が分かるよう記載してください。また、敷地境界線上で規制基準値を満たしていることを示す資料(計算書、実測値など)を添付してください。